

橋本力氏文書概要

1: 文書群番号	099004
2: 文書群名	橋本力氏文書
3: 出所	橋本力家
4: 家業・役職等	農業・酪農業
5: 地名	摂津国川辺郡万多羅寺村／兵庫県川辺郡万多羅寺村／川辺郡御園村／川辺郡園田村御園／尼崎市御園／尼崎市御園2丁目
6: 行政区分	1. 幕府領・旗本梁田氏（正勝系）知行所・下野国壬生藩（のち上野国高崎藩）松平氏領／近衛家領／兵庫県第11区／上坂部組戸長役場／園田村／尼崎市 2. 幕府領・旗本梁田氏（正勝系）知行所・下野国壬生藩松平氏領／幕府領・下野国壬生藩松平氏領・丹波国篠山藩青山氏領／（近代以降は「1」に同じ）
7: 歴史	橋本力家は万多羅寺村草分け百姓8軒（この8軒だけが村の寺である正福寺内墓地に墓を持っている）のひとつで、代々嘉右衛門を襲名していた。また、近代酪農関係については以下の通り。御園地区での酪農は、大正10年（1921）に上坂部に製菓工場を建設した森永製菓（株）が、同13年に本格的に操業を開始したミルクキャラメルの原料バターの地元供給を計画したことを契機に始まったと考えられ、昭和初年頃には地区内の酪農家で任意団体の御園酪農組合が結成された。戦中期には飼育頭数が減少したものの、戦後の昭和24年（1949）には御園酪農農業組合が結成され、組合員・飼育頭数ともに増加し、昭和30年代後期には最盛期を迎えた。しかし、昭和30年代末期以降から糞尿公害や後継者不足が表面化し、飼育頭数も減少の一途をたどり、昭和57年御園酪農農業組合も解消した。
8: 伝来	平成11年（1999）4月30日御園地区農業史聞き取り調査の際に橋本氏より借用。これらの史料は阪神・淡路大震災後の倉庫整理中に発見し、別置していたもので、昭和13年（1938）御園酪農組合出資証券は発見後に鼠の害にあった。平成12年1月に整理・目録作成を完了、21年3月に寄贈された。
9: 史料入手先	橋本力氏（原蔵者）
10: 点数	59点（目録件数59件）
11: 年代	宝暦4年（1754）～昭和56年（1981）
12: 構造と内容	当文書群は①幕末期～明治前期の史料が主で、他に②昭和50年代を中心とした酪農関係史料が数点含まれる。①は奉公人請け状（19点）や田地や建家の売渡し証文（4点）、田地や玄米代・麦種作付けなどの質入れ証文（12点）、銀子借用証文（7点）など農業経営や金融関係の文書がそのほとんどである。また、②は昭和13年（1938）の御園酪農組合出資証券や昭和50年代の雪印乳業（株）からの乳代支払い明細書、同56年6月分の乳代・経費の明細書など酪農関係史料である。
13: 関連史料	-
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河島裕子